

活動団体： NPO 法人アクセプト・インターナショナル

～誰一人取り残さない、たとえ加害者とされる人であっても。～

団体の活動



テロや紛争のない世界を目指し、ニーズは高いものの見過ごされているこれらの問題の解決に向けて活動しています。具体的には、過激化リスクが高い地域・対象に対する過激化防止事業と、テロリストやギャングなどが武器を置き社会に戻ることを支援する脱過激化・社会復帰事業を、ソマリア・インドネシア・ケニア・イエメンなどで展開しています。現場ベースで作上げたこれらの事業は国連をはじめ国内外で高い評価を得ています。

<https://accept-int.org/>



和解に向けた元テロリストと社会との対話
(ソマリア)



フーシ派からの逮捕者への職業訓練
(イエメン)

インターンプロフィール

高橋みづき



学生時代に前進団体の学生 NGO 日本ソマリア青年機構にて活動。大学卒業後、民間企業・海外大学院を経て直接的にテロや紛争の解決に貢献したい想いを強くし、2021年6月より NPO 法人アクセプト・インターナショナルに参画。

所属団体で活動するきっかけ

高校時から武力紛争の解決を志し、前進団体に活動・大学院で勉強をしてきました。こうした経験を経て、テロ・紛争の解決に向け特に困難な課題に真摯に向き合う当団体の姿勢や活動の重要性を改めて感じ参画しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

海外事業局に所属し、ケニアのスラム地域に居住する若者失業者の収入創出支援事業のプロジェクトマネジメント業務や、いわゆるテロ組織に関与した経験を持つ若者が、暴力に頼らずに社会に戻っていくためのリハビリテーション・社会復帰支援事業の案件形成・資金調達を行っています。また、元テロリストと日本の方々との対話により相互理解を促すオンライン対話イベントや、民間企業向けの研修事業の企画実施をリードしています。

1年目を終えて感じたこと

ケニア事業や対話イベントなどで背景が全く異なる元テロリストの方々などと直接話し合い彼らの想いや考えに触れる中で、私達も含む人間の意識・行動変革において、対話という手法の意義や重要性を強く感じました。

スキルアップのためにしていること

事業管理・評価手法、また、職業訓練・能力強化など事業内容実施に必要な考え方や手法、加えて PSEAH やジェンダー主流化など国際協力において重要な概念やアプローチを、文献を読んだり研修に参加して勉強しています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

ケニアのナイロビにて、失業中の若者の収入創出支援事業の運営を行います。ケニア渡航が不可能な場合は、タンザニアやジブチなどで現地カウンターパートと会議、もしくは日本からオンライン実施なども検討します。

今後のビジョンは？

案件形成・事業運営・評価全般を担うことができるようになること。また、日本社会と元テロリストとの対話などより多くの人々を巻き込み相互理解を進め、多角的にテロ・紛争の解決を進

める取り組みを広げていきます。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

国際協力には多様な形があるからこそ、何が課題なのか、課題の解決には何が必要なのか、自分がすべきことは何なのか、をとことん考え行動することが大変重要だと思います。私自身も引き続き考え行動し続けます。

団体のアピール

テロや紛争解決という分野は、問題の深刻さにも関わらず様々な制約を受けるため取り組みの少ない問題です。だからこそ、私たちはニーズに対して真摯に向き合い、前例を創る覚悟を持って活動しています。